



WAVE 48号

ウエーブ

2012年1月

- 2 全国会議
分科会報告
- 3 寄稿清水理事長
- 4 INFORMATION

地域をゆたかにする ワーカーズの活躍と心意気！

第10回ワーカーズ・コレクティブ全国会議 in 千葉
2011年11月19、20日 千葉大学キャンパス他

ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン (WNJ) が主催し2年に1回開かれる全国会議が、テーマを「地域再生にむけて ネットワークでつくる「新しい公共」 ワーカーズ・コレクティブが結ぶ地域の縁！円！援！」として開催されました。参加者600名、埼玉からも実行委員以下160名が参加し、たくさんの収穫を持ち帰ることができました。



1日目 シンポジウム

- 第1部「ワーカーズだからできる生活まるごとたすけあい」
- 第2部「環境・リサイクル・情報でつながるまちづくり」
- 第3部「ネットワーク機能の充実が安心を支える」

の3部構成で行われました。

価値を再確認

地道に活動を続け、信頼され、地域に根付き、常に利用者のニーズにどのようにしたら寄り添えるか、模索しながらたすけあい事業を行っているワーカーズの数々の事例。配食サービスや街の活性化など、使命を担って行政からの受託事業を行っている事例。様々なニーズに対応出来るよう、同業種だけでなく異業種ワーカーズ

や地域との連携・つながり=ネットワークづくりに励む事例が報告され、田中夏子都留文科大学教授から整理されたコメントが加えられました。

利用者もニーズも多様化している中、NOと言わずに何とか応えようと、利用者の状況にあわせて寄り添うことができるのは、地域の一住民として存在するワーカーズだから。自分たちの地域は自分たちの手で創りだそう！良くしよう！と、全国各地で活躍しているワーカーたちの熱い想いと声にふれ、ワーカーズの価値を再確認することができました。自分らしく働ける場として、ありのままの自分を受け入れてもらえる場として、もっともっとワーカーズが増えて存在が周知されるために、自分には何が出来るのか考えていきたいと思います。

ワーカーズ・コレクティブSOU(走)高木友紀

自分にとって大事な居場所

多種多様なワーカーズの働き方の事例は資料や本で読んではいいたものの、実際の活動の様子を聞いた事は感動でした。また他県のワーカーズの総合力は大変参考になりました。個人的にはコメントターの田中先生がおっしゃった「居場所」という看板をかけ人を集めるのではなく、自分が参加できる事や場所に居場所を見つける」というお話に共感しました。私にとって今所属するワーカーズが働く場所である事はもちろん、居場所でもあることを実感しました。



田中夏子さんと第3部
進行の浅草秀子さん

ワーカーズ・コレクティブ旬 渡辺千枝

2日目 7つのテーマの分科会

- 第1分科会 ひろば運営の課題と今後の展望 ~事業継続をはかるには~
- 第2分科会 「働く」って何だ？今、若者と共に考える
- 第3分科会 共に作り、食べ続ける
- 第4分科会 暮らし方とエネルギーの地産地消
- 第5分科会 社会的資源であるワーカーズ・コレクティブに必要な法制度を考える
- 第6分科会 ワーカーズ・コレクティブがつくる福祉の現場の人づくり
- 第7分科会 ユニバーサル就労のすすめ ~私達はワーカーズ・コレクティブではたらいいます~

❖3つの分科会からの報告です

◆胃袋はハートにつながっている

第3分科会

生産者(タイヘイ株式会社)、作り手(食ワーカーズ 2 か所)、そしてその利用者(幼稚園)の報告があり、それぞれの立場から「食」を真ん中に置いた中身の濃い内容でした。幼稚園給食や学生寮でのアレルギー対策や、朝練のための早朝食など、私たちがなぜ食に関わっているのかを再認識することができました。

中でも「胃袋はハートにつながっている」という言葉には大いに共感しました。食の冊子がテーマを絞ったわかりやすいものに仕上がっていたことも、私たちの働き方を社会にどう発信するのかを考えるきっかけになったと思います。公的機関との連携、またその関係性をどう作るか、広報力、ニーズの掘り起こし方、課題がはっきり見えてきた気がしました。

企業組合豆の会 中島ふじ子



◆これからの行動に生かしたい

第4分科会

「生活クラブ北海道の反原発運動と市民風車建設まで」「埼玉県小川町におけるエネルギーの地産地消の取り組み」2つの報告を受け、こんなにも一生懸命活動している方たちがいることに感動しました。六ヶ所村、祝島の活動は映画等により承知していましたが、北海道の幌延町での活動は残念ながら知りませんでした。長年にわたり活動を続けていながら3.11の事故を防げなかった悔しさが痛いほど伝わってきました。

またコメンテーターの天笠氏の「事故はまた起きる」の言葉が耳に残り、これから自分は何を考え行動しなければならないか考えさせられました。自分の故郷である小川町の霜里農場での取り組みも応援し続けたいと思いました。

NPO たすけあい a.n 中野正子



◆ピンチをチャンスにする！

第6分科会

北海道のたすけあい「むく」、神奈川の移動サービス「わっか」、熊本のたすけあい「おおきな木」の発表を聞いて、チャンスをしっかり活かして、ときにはピンチもチャンスにし、一步一步事業を大きくしているパワーを感じました。現場の人づくりには、ワーカーズ・コレクティブの意識を持ち、生活クラブや企業とネットワークを持ち、それぞれにあった形の役割を確認し合い、働きたい人のための事業を広めていく、来るもの拒まず受け入れるなどの共通点があり参考になりました。

「ライト・けあ」が行ったワークショップの手法「ワールドカフェ」は興味深いものでした。テーマを決めてイメージを話し合う。ルールは自由に発言し、意見に対して否定をしないこと。一つのグループで5分話し合い、グループを移動して5分話して、元のグループに戻り、聞いてきた意見を参考にイメージを完成させる。イメージが広がり新鮮でした。

企業組合たすけあい輪っはっは 日原久美子

第5分科会から



第7分科会から



好きです。ワーカーズ

生活クラブ生協埼玉 清水泉理事長

2012年は国際協同組合年です。さまざまな協同組合と連携をとり、この年を有意義なものとしていきたいと思います。今年度生活クラブ生協埼玉の理事長になられた清水さんから寄稿をしていただきました。



清水泉理事長

ワーカーズへの期待

「こんな働き方があるんだ！」ワーカーズという言葉を知ったときそう感じました。

誰かに雇われる、誰かを雇う。そういう就業体系が普通でそれしかないと思っていました。企業は出資者が株主となり、会社が得た利益を配当によって受け取る。誰かが多額のお金を出資し、誰かを雇い、経営をする。パートタイマーやアルバイトは出資や、経営はしない。それも普通だと思っていました。でもワーカーズはそうではなかったのです。ワーカーズは自分たちで出資する。自分たちで働く。自分たちで経営する。誰かの出資を待つてはいない。誰かが作った組織の中にはいない。誰かの指示を待つてはいない。自分たちが必要だと思ったことにし出し働き、運営する。「自分たちが必要だと思ったこと」それは暮らしの中、家庭のなかで発見して、起業をしていく。だからこそ、女性の視点が大事なのです。たくさんの主婦の中からたくさんのワーカーズが生まれているのです。生活そのものの在り方を決めていく生活クラブはワーカーズコレクティブの働き方を支持し、応援しています。

埼玉では配送をはじめとし、食堂、カフェ、仕出し弁当、たすけあい、編集、お葬儀など様々な業種のワーカーズが40近くあります。たった3人から作れるワーカーズです。まだまだ必要とされる仕事はいっぱいあります。企業や行政ができないことを自らの視点で作ることができるのです。

今年度の方針に基づき、地域福祉の充実に向けてデイホームわ〜くわっくの運営をCCSと新しく組織されるワーカーズに委託します。その支援はワーカーズ連合会の協力なしでは行えないのです。また連合会の活動に対して3年間の助成をし、ワーカーズ運動の充実を願っています。

お互いを補い歩みたい

来年度は国際協同組合年です。協同組合という問題解決のあり方を社会に広めていくために、一人ひとりが主体的に社会と関わり、自分たちの住みよい地域を作り上げるためにともに力強く活動していきたいと考えています。

3.11を経験した私たちには復興のためにもこの仕組みが必要だと思います。そしてワーカーズ、協同組合、ともにネットワークを張り巡らし、お互いを補って協同労働をたくさん広めていくよう歩みましょう。

講演会のお知らせ

今求められる共同体自治 幸せと尊厳のある暮らし

宮台真司氏（首都大学東京）

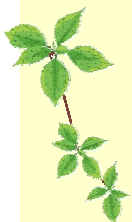
2月11日（土） 10:00～12:00

With You さいたま セミナー室1, 2

運動グループ協議会主催

問合せ 埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会

tel/fax 048-844-0221 E-mail saitama.waakore@gmail.com



新しい仲間たち紹介

応援してね！

ペットシッター
わふう049-243-7249
川越市大塚新町 52-2 大井方

2010年6月に立ち上げてから月に一度の割合で、会議をしてきました。

ワーカーズについて何の知識も無く、連合会の方達の援助を受けながら、時には心が折れそうになった事もありましたが希望を持ち、会議を重ね何とか総会まで辿り着く事ができました。

議案書作り等も何かと力添えを頂き、有り難うございました。

8月29日メゾン鶴ヶ島に於いて、ワーカーズ連合会、クローバー、つどい、anの方々を来賓に迎え、無事設立総会を終えることができました。

ワーカーズコレクティブ ペットシッター わふう として歩き始め除々にではありますが、仕事も頂

け、みんなして前進しています。

本当に小さなワーカーズですが、スタッフ一同シッターをする事が楽しくて、頑張っています。今後とも宜しくお願いいたします。

亀田一美

スマイル
パンジー090 6143 8820
鴻巣市神明 2 1 20

2010年10月に生活クラブの熊谷ブロック主催によるワーカーズ作りの企画で結成された「スマイルパンジー」です。現在のメンバーは10人です。事業内容は、子供のフォーマル服と高校の制服のリサイクルを主に行っています。準備ワーカーズで1年間生活クラブの援助を受けて熊谷ブロック組合員にちらしを毎月配布し、組合員から200点近くの提供をいただき、約25点の利用がありました。子供服も、高校の制

服の利用もあり、喜んでいただいています。今後は組合員の中でのやり取りだけではなく地域に広報エリアを広げなくてはと思っています。他の衣類も扱っていかうと思いますが、買い取りのリサイクル店にしていくなかは、今のところ考えていません。

その他に、メンバーの特技を活かして手作り品の販売も行っています。エプロン、手提げ等、北本生活館の外でフリーマーケットで販売しています。注文製作も受け付けています。

1年たち、ワーカーズとして設立総会を昨年10月に行いました。今後も、もったいない精神と地域貢献を進めていきたいと思ひます。そして拠点が「ワーカーズコレクティブ雪花菜くらぶ」さんの倉庫をお借りしている状態なので、独自で確保して展開できるように頑張っていきたいと思ひます。

羽鳥純子

「ホップステップワーカーズ

起業のためのガイドブック

改訂新版！埼玉 W.Co 連合会発行500円

"地域で暮らし続けるために 共に支える

ワーカーズコレクティブの福祉事業事例紹介

WNJ発行500円

WNJ: ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン(全国組織です)

ワーカーズってなに？
出前講座 講師派遣します
2時間 1万円 + 交通費
(関係団体は5千円)



(事務局にお問い合わせください)

あとがき 新しい年になりました。今年がどんな年になりますか、昨年11月の全国大会でお会いしたワーカーズの皆さんに負けぬよう、今日より素敵な明日にするために努力していきます。そして、発行にあたりご協力いただいた皆さんに感謝いたします。(SATO)

ワーカーズ・コレクティブとは、経営と労働を自主管理・自主運営する主体的な働き方で、地域に開かれた労働の場を作り出すものです。

発行・・・埼玉ワーカーズコレクティブ連合会

1部 100円

発行責任者・・・後藤成美 編集・・・広報チーム 佐藤/福島/齊藤/大塚

〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋1-5-3 ひゅうまんポスト内 電話/ファクス048-844-0221

<http://saitama-workers.com/>